

はちのへ のうぎょうだより



令和2年新年号 No.531

のうぎょうだよりは八戸市農業委員会のほか、市内農協各支店でも配布しています。
また、インターネットではフルカラーでご覧いただけます。
〇八戸市ホームページ
<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/>

のうぎょうだより

検索



年頭のご挨拶



八戸市農業委員会
会長
籠田 悦子

明けましておめでとーございませう。皆様には、飛躍と希望に満ちた新年を迎えられたことと謹んでお喜び申し上げます。また、日頃より当委員会の業務推進につきまして、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は相次ぐ台風や豪雨が全国的な被害をもたらしました。被害に遭われた皆様に改めてお見舞い申し上げます。さて、昨年は平成から令和へ改元し、新しい時代を迎えました。令和とは、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められているようですが、そのような時代となるよう願っております。

平成の農政を巡る主な出来事を振り返りますと、牛肉・オレンジの輸入自由化、MA米受け入れ、認定農業者制度創設、米の大凶作によるタイ米の緊急輸入、BSEの発生、戸別所得補償制度導入、規制緩和による一般企業の農業参入、農地中間管理事業創設、TPPや日EU・EPAの発効、農業経営の大規模化・法人化や6次産業によ

る経営多角化の進展、新たな技術を応用したスマート農業の登場など、国内外で大きな変化がありました。

また、遊休農地の増加や過疎化による農村の衰退による影響が顕著となり、中でも農業者の高齢化や後継者不足は深刻で、今では基幹的農業従事者の約7割が65歳以上の高齢者となりました。

現在、国は、地域の皆さんがこれまで築き上げてこられた地域の農業や農地、また、それを取り巻く伝統や文化、自然景観なども一緒に子供や孫の世代にしっかりと引き継ぐため、地域の話し合いを再活性化して、「将来にわたって地域の農地を誰が担っていくのか」「誰に農地を集積・集約化していくのか」を地域の皆さんで決めていただく取り組みを進めております。

当委員会といたしましても、農業委員会組織に与えられた食料自給率の向上や生産基盤の維持に欠かせない農地を守るという大切な任務があることを自覚し、地域に残るかけがえのない農地が将来にわたって意欲ある担い手に受け継がれるよう取り組んでまいります。

いつの時代も農業を取り巻く課題はさまざま存在してきましたが、それだけ農業が国民の生活に必要な不可欠ということだと思えます。

謹賀新年



謹んで新年のご祝詞を申し上げますとともに、皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

私ども八戸市農業委員会は、今年も「人と農地」の問題に真正面から取り組み、夢と希望が持てる農業・農村の実現を目指し、国、県、各関係機関と連携しながら農業者の皆様のご期待に応えることができるよう、誠心誠意努力する所存でございます。結びに皆様のご多幸とご健康をお祈りし、新年のご挨拶いたします。

八戸市農業委員会
会長 籠田 悦子
長 職務代理者 馬場 豊
同 同 同 谷地 秀典
同 同 同 明戸 政勝
同 同 同 加藤 浩幸
同 同 同 齋藤 正人
同 同 同 他 委員一同
事務局職員一同

農業委員・農地利用最適化推進委員の募集についてのお知らせがあります。

詳しくは折込チラシをご覧ください。



農家座談会を開催します

農業委員会では、左表の日程で農家座談会を開催します。

この機会に日頃の悩みなどを地域で共有し、解決に向けて話し合いませんか。

問農業委員会
43121111 内線4013



日時	地区	会場	テーマ
1/16(木) 17:00~	館・是川	是川公民館 (講座室1・2)	○現経営者の今後の経営移譲の状況 ○耕作放棄地の解消
1/20(月) 13:30~	大館・南 浜・白銀	大館公民館 (和室(大))	農家よろず相談会(テーマなし)
1/21(火) 10:00~	下長	下長地区市民 センター(集会室)	○農地の貸借・集積について ○遊休農地対策について
1/21(火) 13:30~	市川	市川公民館 (図書室)	○鳥獣対策について ○農地の貸借・集積について
1/22(水) 10:00~	上長	上長公民館 (会議室)	農家よろず相談会(テーマなし)

令和元年度第2回八戸市農業講座

農業の生産性の向上と経営の安定を図るため、農業の優れた知識や新たな技術を紹介する講座です。

日時	内容	講師
2/3 (月)	13:00 ~ 15:00 (120分)	○土壌 土壌診断を活かした土づくりと土壌病害対策 ~かなぐり捨てよう!「土づくり迷信」~ 東京農業大学 名誉教授 ごとう いつお 後藤 逸男 氏
	15:15 ~ 16:15 (60分)	○ピーマン 「ピクシー」栽培のポイント ~栽培の課題や仕立方法等について~ 横浜植木株式会社 菊川研究農場 ピーマン・パプリカ担当 ブリーダー むらおか たくみ 村岡 巧 氏
2/7 (金)	13:00 ~ 14:00 (60分)	○気象 頻発する大雨災害、どうなる? 今年の八戸の天候 株式会社吉田産業 海洋気象事業部 所長(気象予報士) たしま けんいつ 田嶋 研逸 氏
	14:15 ~ 15:45 (90分)	○ミニトマト 新品種「キャロルムーン」の特性とキャロル シリーズの栽培要点について 株式会社サカタのタネ 君津育種場 育種第2課 いたい つねあつ 板井 恒篤 氏

会場・問 農業経営振興センター(八戸市大字尻内町字毛合清水29)
☎27-9163 FAX27-9166
※申し込み不要

これからは手放せない!
マイナンバーカード

平成28年1月から利用が始まったマイナンバーカードですが、利活用の範囲が広がり、これからは手放せないカードとなってきました。

暮らしを便利にする点として、
1 顔写真入りのため、身分証明書になる。

2 全国のコンビニで住民票の写しや課税証明書などが取得できる。
※市区町村によってサービス内容が異なります。

3 マイナンバーのポイントで買い物ができる。(令和2年度実施予定) 3年3月実施予定)

4 健康保険証として使える!(令和3年3月実施予定)

5 スマートフォン、パソコンを利用して、オンラインで確定申告ができる。

などのことができるようになります。

マイナンバーカードを作るには、市区町村の窓口のほかに、スマートフォン、パソコン、郵便、証明写真機からも申請できますので、ぜひ早めにご取得ください。

申請方法の詳細については、ホームページ(<https://www.kojinbangocard.go.jp/kofushinse/>)、パンフレットなどをご覧ください。

マイナンバーについてのお問い合わせは、マイナンバー総合フリーダイヤル

0120-065-0178

まで。



今月の Pick up! Pick Up!

農業委員会 視察研修報告会

農業委員会では、10月23日から25日まで視察研修を行いました。視察研修の内容について、参加委員のレポートをお伝えします。



木原 俊司 推進委員

研修初日は(株)デ・リーフデ北上を訪れました。北

上川の河口近くにあり、東日本大震災で甚大な被害を受けた所です。震災からの復興に向け、地域の農業を活性化し、人々を地域に呼び戻すことを目的に設立されたとのことです。施設はフェンロー型ガラス温室栽培棟2棟(パプリカ棟1.3ha、トマト棟1.1ha)、冷暖房設備、蓄熱タンク、貯水槽等があり、次世代施設園芸導入加速化支援事業等の補助金が導入されています。



ガラス張りの温室内

物工場で製造しているような感じを受けました。10年後、20年後を見据えて、私たちの地域の農業が継続・発展していけるよう考え、行動したいと思いました。2日目は(株)庄内こめ工房を視察しました。本業は養豚業だったそうです。平成の大凶作の時、取引先から前金で米の注文が入り、代表の斎藤さんが仲間へ声をかけ8千俵を集めたのが米屋の始まりで、その後は特別栽培米制度により米をグループ出荷することになった。生産農家100%の株式会社です。農家メンバーは山形庄内地方を中心にした専業農家や若手後継者のグループで、研究会を持ち、お互いの知識や経験を出し合い、食味ルールを設けおいしい米づくりに取り組んでいます。出荷メンバーに対し、会社は売値や流通経費を明示して支払額を決めることが魅力となっていました。おいしい米を出荷するために、メンバーごとに食味計で測り、点数で順位表を公開。出荷メンバーが、仲間であり良きライバルの関係を構築しています。



澤田 俊司 推進委員

集荷は会社の役割で、出荷メンバ

1の元へ玄米を取りに行き、長期保存ができる会社の低温倉庫に搬入。販路は、野菜宅配業、外食業者、スーパーなどにも直接販売し、今後は輸出にも取り組むとのことでした。3日目は平沢ファームを訪れました。平沢ファームは、地域の高齢化、後継者不足、圃場の小区画からの脱却、更には集落ぐるみ型組織を目指し、農事組合法人として平成26年7月に設立され、翌年、中間管理機構から交付金を受け、負債なしで営農をスタートさせることができました。現在、水稲面積96ha、集積率91%となっています。当ファームの取り組みとして、秋田県単独事業「園芸メガ団地推進事業」を活用し、枝豆、ネギ、ダリアの栽培を導入していました。拡大及び複合化によるリーダーへの負担を軽減するため、水稻部、枝豆部、ネギ部、ダリア部と部門制に体制を整備し、運営のスムーズ化を図っていました。また、朝の10分間ミーテ



坂井 俊司 農業委員

低温倉庫内



低温倉庫内

イングの取り入れにより、農場運営が一段と改善されたとのことでした。高性能枝豆選別機の導入は売上40%増加、作業時間30%削減。田んぼ小区画から1ha区画に改善したことで1日4haの代掻き作業が可能となりました。露地栽培で手間のかかる水やり作業を、暗渠と水路を活用した地下灌漑方式に変えることにより大幅な作業時間短縮が可能となりました。バルブを開閉するだけで済むこの方式に大変興味を惹かれました。経営の堅実性を重視し、多くの取引業者の申し入れを断っているとのこと、この考え方はとても参考になりました。

今後の課題として、しっかりと技術継承を目標に掲げ、人材育成に力を注いでいるとのことでした。いろいろな問題を抱えながらも、工夫を重ね健全な経営継続を目指し日々努力されている生産現場を勉強できたことに感謝したいと思います。

行程表

- 10/23 宮城県石巻市 ■(株)デ・リーフデ北上
- 10/24 山形県鶴岡市 ■(株)庄内こめ工房
- 10/25 秋田県秋田市 ■農事組合法人 平沢ファーム

ご協力いただいたみなさま
ありがとうございました。

編集発行 令和2年新年号 八戸市内丸一丁目1番1号 八戸市農業委員会 (TEL 43-2111 内線4013) 印刷部数4,200部 印刷経費1部あたり495円

農地法許可申請

申請月	受付期間	許可書の交付日	
		3条/4.5条 (30a以下)	4.5条 (30a超)
1月	1/14-1/20	2/18	3/5
2月	2/12-2/20	3/19	3/31
3月	3/11-3/19	4月中旬予定	5月上旬予定

申請月	締切日	交付日	締切日	交付日
1月	1/6	1/15	1/20	1/31
2月	2/5	2/14	2/20	2/28
3月	3/5	3/13	3/23	3/31

※他法令との調整により、変更となる場合があります。

問 農業委員会
43-2111 内線4014

※今年度の年間予定については、農業委員会の窓口及び市ホームページへ掲載しています。

4、5条の許可申請・届出の受付期間等をお知らせします。申請内容や申請書類について、事前に農業委員会でご確認ください。

農地法関係の申請受付日等について

～農地情報～

新規の農地情報をお知らせします。詳細について確認したい方は、「全国農地ナビ」をご覧ください。新規以

■農地を売ります

①	所在地		地目等	面積 (m ²)	希望価格
	大字	小字			
市川町	小鍋下	76-1	田 (農用地)	626	応相談
		76-2	田 (農用地)	621	
		76-3	田 (農用地)	610	
		76-4	田 (農用地)	586	
		76-5	田 (農用地)	570	
		76-6	田 (農用地)	588	
		76-7	田 (農用地)	596	
		76-8	田 (農用地)	601	
		76-9	田 (農用地)	613	
		76-10	田 (農用地)	591	

外の情報は折込チラシにございます。

農地転用・農地改良につきましては、農業委員会や農業委員・農地利用最適化推進委員にご相談ください。

問 農業委員会 ☎43-2111 内線4015

農地情報への掲載について

○農地情報掲載の提出書類一覧 (全て1部)

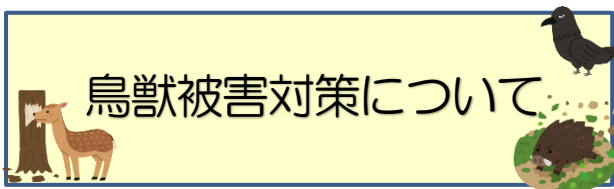
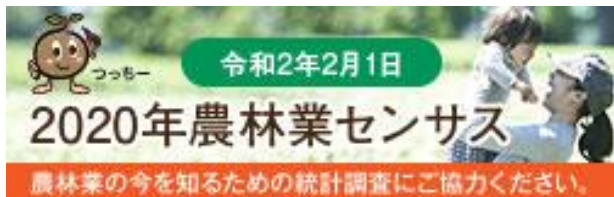
■農地を売りたい・貸したい方

提出書類	発行機関等
①あっせん申出書	八戸市農業委員会
②全部事項証明書 (土地)	法務局 (登記所)
③公図	法務局 (登記所)
④住民票 ※申出者が市外居住者の場合	居住地の市町村役場

■農地を買いたい・借りたい方

提出書類	発行機関等
①あっせん申出書	八戸市農業委員会
②住民票 ※申出者が市外居住者の場合	居住地の市町村役場
③農地台帳記載証明書 (耕作証明書) ※申出者が市外居住者の場合	居住地の農業委員会

詳しくは折込みのチラシをご覧ください。



今月号は本紙に収まりきらないほどお知らせが多く、折込チラシが多くなりましたが、大切なお知らせばかりです。しっかりと目を通していただくようお願いいたします。もちろん、いつも大切なお知らせばかりですが、令和となり初の新年を迎えましたが、みなさん今年の目標は決めましたか？私は「断捨離」です。正直、毎年思っています。今年こそは実行して家中をすっきりさせたいと思います。

のうぎょうだより担当 古舘

